

米・加に計器製造の新会社

西独VDOと合併で

1月1日設立 5月から操業開始へ

矢崎と西独のハウデーオー・アドルフ・シンドリックは、北米において合併で二つの新しい独立系の計器会社を設立することに合意した。

この共同事業は、本年1月1日付で設立足された。その一つは、アメリカ法人の新社名「VDO矢崎コーポレーション」であり、本社および工場をバージニア州ウィンチェスターにもち、テクニカル・センターをミシガン州ロチェスターにもつ。

二つめは、カナダ法人の新社名「VDO矢崎リミテッド」であり、事務所と工場をオンタリオ州パリにもつ。この合併のねらいは、北米の自動車メーカーはもろろん大型車、商業車、マリーンおよび自動車市販の拡大するニーズに、よりよく対応しようとするものである。

これまでは、北米においてアメリカ矢崎コーポレーションおよびVDOインストルメンツINCが、それぞれ計器事業を永年にわたって努力をつづけ、高い評価を受けてきた。

今回の矢崎・VDOが計器事業を合併一本化するにによって、合一層のサービス品質の向上、またさらに変化する市場のニーズにも即応できるものと期待されている。

矢崎の提携相手である西独VDOは、西独最大の計器メーカーであり、電子制御の技術を有し、世界的な規模で生産拠点を有している。

米国、カナダで新発足する二つの新会社は、北米現地化に対応しながら幅広い供給生産能力をもつと同時に、ジャスト・イン・タイムで高品質の製品を安い価格で顧客に提供できうるものである。

【合併の形態】 矢崎は、VDO計器社と五〇対五〇の出資比率で、米国およびカナダ

に新会社を設立する。

米国の新会社は、VDO側はすでに一九七六年より活動している米国法人「VDOインストルメンツINC」のほぼ全資産を現物出資し、矢崎側はそれに見合う同額の資本金を出資して設立する。

カナダの新会社は、昨年2月に設立したばかりのカナダ法人「VDOインストルメンツLTD」に対し、矢崎側が倍額増資の形で五〇割を資本出資し、新会社としての商号変更を行う。

【矢崎の計器製造の移管】

矢崎は現在、日本から輸出している北米メーカー向け計器およびマリーン用計器を順次、現地移管すると同時に、

現地日系メーカーの受注にも早急に対応する。生産開始は62年5月を予定

【矢崎の出資金額】 米加合計で約十二億円を予定（そのうち約九億円は矢崎製品の現地移管にともなう必要投資額となる。設備、治具設置費用など）

【日本矢崎からの出向人員】

米国法人に三人、カナダ法人に十人の予定をしている。一九八二年、VDOの海外子会社で最大級のシェアをもつ「VDO計器オーストラリア」社に矢崎が二五割の資本参加をし、計器製造の技術供与を行ったのをはじめとして昨年6月、両社が共同出資（矢崎六〇割、VDO四〇割）

して日本で設立した「株式会社ワイアンドブイ」（VDOのもつエンジン・マネジメント・システムの輸入製造会社）を足場に、友好関係を深めてきた。

北米新会社は、いわば第三弾の共同事業といえる。新会社は、北米における自動車、マリーンの最大の独立系計器会社となる。

【VDO矢崎コーポレーションの概要】

設立一九八七年一月一日
資本金 一三〇万US\$
出資比率 矢崎五〇割、VDO五〇割

社長 M・ハウブ
役員 矢崎側三名、VDO側三名

本社・工場 所在地 米国バ
ージニア州ウィンチ
ェスター

郊外。敷地 四万平方
方。建物 一万四
千平方。従業員
四八二名（うち日本
矢崎より八名派遣）

テクニカル・センター 所在地 米国ミシガン州
ロチェスター。敷地 一
〇ト郊外。

一八五〇平方。建物 一八五〇平方。従業員 八四名（うち日本矢崎より十四名派遣）

事業内容 乗用車用、大型車用、マリーン用計器の開発、設計、製造および販売

【VDO矢崎リミテッドの概要】

設立一九八七年一月一日
資本金 二〇〇万カナダドル
出資比率 矢崎五〇割、VDO五〇割

社長 M・ハウブ
役員 矢崎側三名、VDO側三名

本社・工場 所在地 カナダ
オンタリオ州パリ
（トロント郊外）

敷地 四〇四七〇平方
方。建物 八一四
九平方。従業員
二六〇名（うち日本
矢崎より十名派遣）

事業内容 乗用車用、大型車用、マリーン用計器の開発、設計、製造および販売